

平成28年度 主要事業の概要について

▶熊本地震対応

平成28年4月14日、16日最大震度7を観測した平成28年熊本地震が発生、九州地方に甚大な被害が発生



大津市から、同じ名前の縁から熊本県「大津町」へ職員を派遣、避難所等における支援活動等を実施、大津市消防局から2名の職員を派遣



▶違反対象物公表制度の運用を開始

利用者が建物の危険性に関する情報入手し、その建物の利用について判断できるように、重大な消防法令違反のある建物を大津市消防局のホームページにより公表する制度を開始

運用開始の4月1日以降、違反対象物を2件公表し、是正に至る。今後も関係者の防火安全に対する理解のもと、早期の是正を目指す



▶北消防署機能強化



北部地域の災害対応能力強化のため、防災拠点としてだけでなく防災学習施設、総合訓練棟、燃焼実験室などを兼ね備えた「北部地域総合消防防災センター」を3月1日にグランドオープン

北部方面の機能強化を目的に、消防局3隊目となる専任指揮隊を10月1日北消防署に設置



▶病院派遣型救急ワークステーション本格運用

救急隊員の資質向上と早期医療介入を目的に、大津赤十字病院、大津市民病院、滋賀医科大学医学部附属病院の協力のもと、4月1日から本格運用を開始



▶水難救助隊発隊

多発する水難救助事案に対応するため、10月18日に大津市消防局水難救助隊を発隊、発隊式では消防艇おつ「湖都風」、滋賀県防災ヘリコプター「琵琶」、1月25日に運用を開始した大津市消防局ドローンとの連携訓練を実施



▶中はしご1号車更新

先端屈折や電動リモコン大量放水銃を備えた最新型はしご車を6月1日より、中消防署で運用を開始



▶自然災害に対する地域防災力の強化

近年の大規模化、複雑化する災害対応の中で、頻発する台風等による自然災害に対する地域の防災力強化を目的として膳所学区、上田上学区で土砂災害対応型総合防災訓練を実施するとともに新たに「枝」地域に土のうステーションを設置



▶耐震性貯水槽の設置

地域防災力の強化のため、仰木学区（仰木太鼓会館駐車場内）に60m³の耐震性貯水槽を設置した。

また、消防活動面を考慮し附帯設備として採水口を設置



▶救急隊員用装備の充実

救急隊員の感染防止衣を更新するとともに隊員の安全性向上のため、防刃ベストを新規配備



▶消防団の装備充実、更新

消防団の災害現場における安全性と視認性向上のため、機関員用ベストを新規配備、消防団員用防火衣を昨年引き続き追加配備するとともに、ヘルメットは2年計画の初年度にあたり半数を更新するなど、消防団員の装備を充実

